

# 令和4年度 予算の概要

多摩ニュータウン環境組合

# 1 令和4年度予算について

## 【予算編成の基本的な考え方】

### －中期経営計画・ビジョン2022の総仕上げの年－

国の景気は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増しており、先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動等の影響に十分注意・注視する必要があるとされています。

東京都においては、感染症対策のさらなる強化や、喫緊の課題に的確に対処していくことに加え、豪雨災害・大規模地震などの災害への備え、人口減少やさらなる少子高齢化への対応、待機児童の解消や女性活躍支援など、誰もが安心して暮らし、人がいきいきと輝き活躍する社会を築くための施策を着実に推進していくことが求められているとしています。

また、構成市においては、歳入面では感染症の影響により過去最大の減収を見込む一方、歳出面では社会保障関係経費や公共施設・都市基盤の老朽化対策などによる財政負担の増大を見込んでおり、先行きを厳しく見据える必要があるとしています。

本組合は、焼却棟の稼働から24年目、不燃・粗大ごみ処理棟稼働から20年目を迎える中、「中期経営計画・ビジョン2022」を基に、経営方針である「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」の実現に向けた取り組みを行っていくこととしています。経営計画に掲げた事項の着実な推進のために設備機器を良好な状態に維持し、長期修繕計画を確実に実施する必要があります。また、次期処理施設建設の検討を含む施設老朽化への対応についての基本的な方針を決定するとともに、令和2年度に規約改正を行った「ごみ処理区域の再編成」初年度としての対応や、ごみ量の変化を見込んだ工場運転等管理業務委託の契約更新、町田市から要請があった可燃ごみ処理支援への対応など、様々な取り組みを確実に進めていかなければなりません。

そのうえで、今後も、感染症に対して万全の対応を行うとともに、現下の厳しい構成市の状況も鑑み、効率的で効果的な組合運営を図り、安全で安定した工場運営に向けた予算を編成いたしました。

## 令和4年度予算のポイント

「中期経営計画・ビジョン 2022」に基づき所要額を見積もりました。また、経費については、すべての事業について内容を精査し、構成市の負担金に安易に依存することのないよう、経費の節減を徹底した予算を編成するため、以下のポイントを定めました。

### ① 安全で安定したごみ処理体制の確保

- ・安定した運転と長期的な視点に立った施設の維持管理に努める。
- ・コストを意識し、精度の高い的確な予算を編成する。
- ・新規レベルアップ事業はもとより、経常経費についても改めて精査し、収入確保を図り、ごみ処理コストの低減を推進する。
- ・協議会を開催し、地元住民との関係強化を図る。
- ・十分に感染防止策を講じ、事業の継続を図る。

### ② 環境と安全に配慮した取り組み

- ・環境測定を着実に実行する。

### ③ 事業評価の実施(サマーレビュー)

- ・増減の見込まれる事業及び新規・廃止事業について評価を行い、事業ごとに精査・見直しを行う。

### ④ 補助事業について

- ・国庫補助金や都補助金の交付基準を確認し、新たな財源確保に努める。なお、補助事業であることを理由に安易に事業採択を行い、結果として多額の一般財源の持ち出しを招かぬよう留意する。

### ⑤ 国等の制度改正への対応について

- ・制度改正が見込まれるものについては、新規・レベルアップ事業と同様に十分な理解と情報収集の上で必要経費を精査する。

## 令和4年度予算の規模

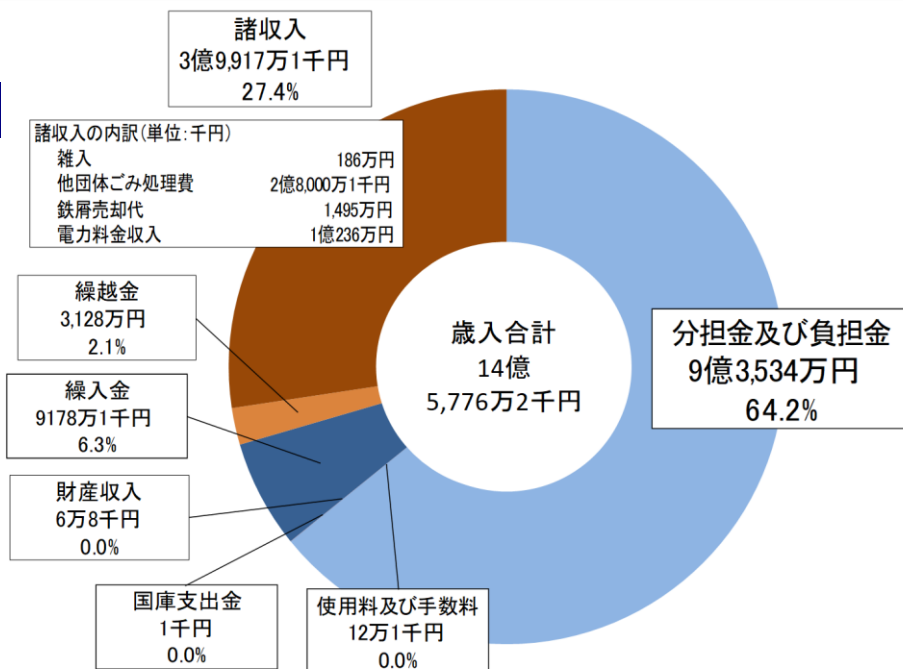
予算総額は14億5,776万2千円で、前年度に比べ5,629万6千円、3.7%の減少となりました。

歳入面では、新たに町田市の可燃ごみ処理支援に伴う収入を見込むほか、施設整備基金と財政調整基金から繰り入れを行います。また、売電単価の低下により電気料金収入が減少するなかで電力の地産地消に取り組むことで、財源を確保し、構成市負担金の軽減を図ります。

歳出面では、飛灰搬出改造工事を令和3年度に完了したこと等により、処理場費は前年度比3.1%減となりました。工場運転等管理業務委託の更新、灰の運搬に係る契約の見直し等を実施し、効率的な工場運営を進めていきます。

## 2 予算の主な内容

### (1) 歳入



(単位:千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	935,340	64.2	1,048,880	69.3	△ 113,540	△ 10.8
2 使用料及び手数料	121	0.0	121	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	1	0.0	538	0.0	△ 537	△ 99.8
4 財産収入	68	0.0	26	0.0	42	161.5
5 繰入金	91,781	6.3	108,362	7.2	△ 16,581	△ 15.3
6 繰越金	31,280	2.1	30,660	2.0	620	2.0
7 諸収入	399,171	27.4	325,471	21.5	73,700	22.6
計	1,457,762	100.0	1,514,058	100.0	△ 56,296	△ 3.7

### 歳入予算の主なもの — (対前年度比較) —

#### ○分担金及び負担金

9億3,534万円

(1億1,354万円減)

#### ・構成市別負担金内訳

(単位:千円)

	負担金額	負担割合	前年度負担金額	前年度比
八王子市	335,181	35.8%	340,293	△5,112
町田市	134,030	14.3%	68,359	65,671
多摩市	466,129	49.9%	640,228	△174,099

#### ○繰入金

9,178万1千円

(1,658万1千円増)

#### ・施設整備基金繰入金

802万円

(工事への対応)

#### ・財政調整基金繰入金

8,376万1千円

(財源調整)

#### ○諸収入

3億9,917万1千円

(7,370万円増)

#### ・町田市支援ごみ処理費

2億8,000万円

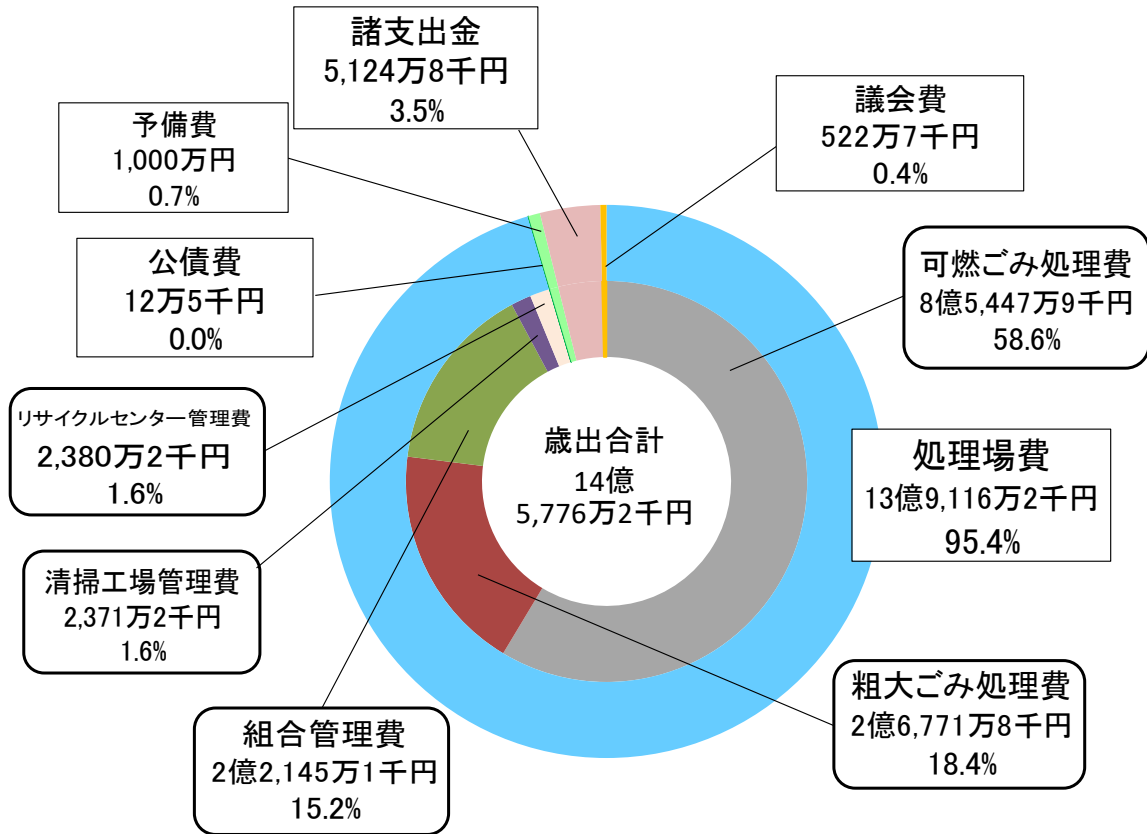
(皆増)

#### ・売電収入

1億236万円

(2,415万4千円減)

(2) 歳出



(単位:千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	5,227	0.4	4,538	0.3	689	15.2
2 処理場費	1,391,162	95.4	1,436,111	94.8	△ 44,949	△ 3.1
3 公債費	125	0.0	125	0.0	0	0.0
4 予備費	10,000	0.7	10,000	0.7	0	0.0
5 諸支出金	51,248	3.5	63,284	4.2	△ 12,036	△ 19.0
計	1,457,762	100.0	1,514,058	100.0	△ 56,296	△ 3.7

歳出予算の主なもの — (対前年度比較で1千万円以上の増減があるもの) —

- 処理場費 13億9,116万2千円 (4,494万9千円減)
  - ・委託料 6億7,760万3千円 (3,693万2千円増)
    - 工場運転等管理業務委託料 4億9,446万9千円 (3,620万8千円増)
    - 脱臭用活性炭入替え委託料 0千円 (1,652万1千円減)
    - 残灰等運搬業務委託料 4,385万9千円 (1,827万3千円増)
  - ・工事請負費 3億6,073万4千円 (8,864万1千円減)
    - 機器補修工事 3億4,169万3千円 (5,537万4千円減)
    - 飛灰搬出改造工事 0千円 (3,245万円減)

### 3 基金及び地方債の状況

#### (1) 基金について

##### ○施設整備基金

施設整備基金は、多摩清掃工場の施設整備及び修繕に充てることを目的に設置したものです。

令和4年度は、原資として売電収入の1/4である2,559万円、運用に係る利子の5万3千円を積み立て、建築設備更新工事に802万円を充当します。

##### ○財政調整基金

財政調整基金は、災害復旧など突発的な財政需要が生じた場合や年度間調整として負担金の平準化が必要な場合の財源に充てることを目的に設置したものです。

令和4年度は、原資として売電収入の1/4である2,559万円、運用に係る利子の1万5千円を積み立て、財源調整として一般会計に8,376万1千円を充当します。

(単位:千円)

基金名称	令和2年度末 現在高	令和3年度末 現在高見込額	令和4年度中増減見込み		令和4年度末 現在高見込額
			積立見込額	取崩見込額	
施設整備基金	593,357	618,595	25,643	8,020	636,218
財政調整基金	733,940	809,178	25,605	83,761	751,022

#### (2) 地方債について

地方債とは、「地方公共団体が1会計年度を超えて行う借入れ」のことをいいます。本組合では現在の施設を建設するための資金として借入れを行っていましたが、平成28年度末で全ての償還が終了しました。令和4年度は新たな借入れの予定はありません。予算上では一時借入金の利子相当額のみを計上しています。